

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営等に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	平成26年度第3回高松市議員報酬、市長及び副市長の給料等審議会
開 催 日 時	平成27年1月23日（金） 午前9時～午前9時32分
開 催 場 所	市役所 4階会議室
議 題	審議（答申書の決定）
公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
非公開の理由	—
出 席 委 員	7人
	松本修二（会長）、與田康子（職務代理者）、石田雄士、植松瀧子、高塚順子、前田峻司、山田径男
傍 聴 者	なし
担 当 課 及 連 絡 先	総務課 （TEL 839-2181）

答申内容
1 市長・副市長の給料の額 据置き
2 議員報酬の額 据置き
3 議会における政務活動費の額 据置き

【経過及び結果】

答申案を審議した結果、表現を一部修正し、全会一致で決定した。

【主な質疑応答】

委員）答申案の「2 議員報酬の額並びに市長及び副市長の給料の額」中、2点修正してはと考える箇所がある。1点目は、「本市財政状況の先行きは依然不透明であり、今後の推移を見守る必要があると判断し、据置きとすることが適当であるとの結論に達した。」という表現について、「今後の推移を」の前に「今しばらくは」という文言を加えて「今しばらくは今後の推移を見守る必要がある」とした方がより適切なのではないか。

2点目として、「議員についても、本審議会が減額措置の実施を平成20年度から昨年度まで毎年求め実現に至らなかった経緯があるが、今回は、市長、副市長と同様に、減額措置を講ずる必要がないと判断した。」という表現について、「が」という言葉が続くので「実現に至らなかった経緯があるものの」と改めた方がよいのではないか。

会長）今の修正意見について、他の委員の意見を伺いたい。まず、「今しばらくは」という文言を加えるということについてどうか。（賛成3名、反対2名）

反対意見の方もいるため、「今しばらくは」を加えた方がよいと考えた理由を示していただきたい。

委員) 審議の中でも社会経済情勢が緩やかな景気回復基調にあり、一般職職員の給料についても引上げ改定が行われたということ踏まえ、増額改定を検討してもいいのではないかと主張もあったが、本市の財政状況の推移を見守る必要があると判断し、今回は据置きとの結論に達した。次年度以降に額の改定があるかもしれないという含みを持たせる意味で「今しばらくは」という表現を入れてはどうか。

会長) 原案通りでよいと考える委員の意見を伺いたい。

委員) 「今しばらくは」という表現がどのくらいの期間を指すのかがわからない。

会長) 「今しばらくは」という文言を加えても加えなくても、言いたい趣旨は伝わる。「今しばらくは」という文言を加えるかどうかについては、委員の大勢に任せたいと考えるが、ひとまずこの問題は保留とし、提案のあった2点目「実現に至らなかった経緯があるが」を「実現に至らなかった経緯があるものの」に修正することについて意見を伺いたい。

委員) 提案どおり修正した方がよいと考える。

委員) 「が」を「ものの」に変更することで文章がソフトな印象となるため、修正した方がよいと考える。

委員) 文章の中に「が」という言葉が続くことが良くないのであれば、「本審議会が減額措置の実施を平成20年度から昨年度まで毎年求め実現に至らなかった経緯があるが、今回は、市長、副市長と同様に、減額措置を講ずる必要はないと判断した。」という表現でもいいのではないか。

会長) 「本審議会が減額措置の実施を平成20年度から昨年度まで毎年求め実現に至らなかった経緯がある」ということが答申を通じて伝えたい趣旨であり、このことが最もすんなり受け入れられる表現方法はどれかという観点で検討すればよいと考える。

今、①原案どおり②「経緯があるが」を「経緯があるものの」に修正する案③「経緯があるが」という表現はそのまま生かして、その後に来る文章を「減額措置を講ずる必要はない」から「減額措置を講ずる必要はない」という文章に修正する案の3つが出されているが、どれが最も適当な表現か意見を伺いたい。

委員) ニュアンスの問題だが、「経緯があるものの」という表現の方がソフトな印象を受ける。

委員) 「経緯があるものの」という表現の方がソフトであり、また含蓄のある言葉という印象を受けるため、「経緯があるものの」という表現に修正した方がよいと考える。

委員) 「経緯があるものの」という表現の方が、文章のつながりも良く、我々の思いが伝わるように思う。

会長) 提案のあった修正案のうち2点目については、「経緯があるが」という表現を、「経緯があるものの」に改めることで決定する。

修正案のうち1点目について再度検討したい。昨今の景気回復傾向、一般職職員の給料についても引上げ改定が行われたということ考慮すると増額改定がイメージされるが、「今しばらくは」という表現を加えることによって増額改定方向がより身近になるという印象を受ける。

委員) 原文のままだと期間が不明瞭ではっきりしないが、「今しばらくは」が入ることにより、増額改定までの期間が想像しやすくなる。

委員) 「今しばらくは」という表現からは、状況が変化すれば2、3年内には増額改定というニュアンスが読み取れるのではないか。

会長) 「今後の推移を見守る必要があると判断し、据置きとすることが適当であるとの結論に達し

た。」という表現の前に「今しばらくは」という文言を加えることに決定し、先程決定した修正案も含め、文言 2 箇所を修正した答申案で決定する。
全委員) 異議なし。